

アセットトライ

AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED

作成日：2013年5月31日

2013年4月運用報告書(2013年4月1日～2013年4月30日)

純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：9.20%】

	設定時 (1999/2/1)	2012年12月末	2013年1月末	2013年2月末	2013年3月末	2013年4月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	1,960,211	2,144,728	2,233,360	2,296,969	2,311,485
月次騰落率	—	1.60%	9.41%	4.13%	2.85%	0.63%
設定来騰落率	—	96.02%	114.47%	123.34%	129.70%	131.15%

各セクターごとの損益

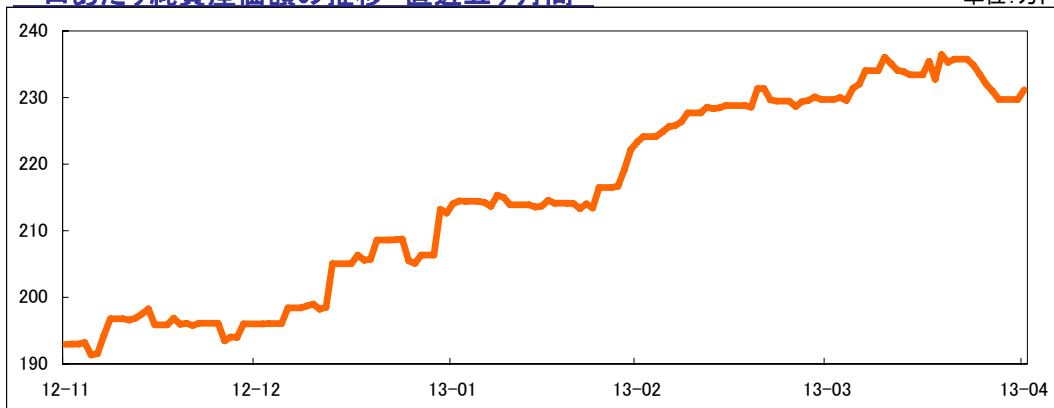
2013年4月の運用成績はプラスとなり、アセットトライは前月比0.63%の利益となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
++	--	++	++	+	-	-

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

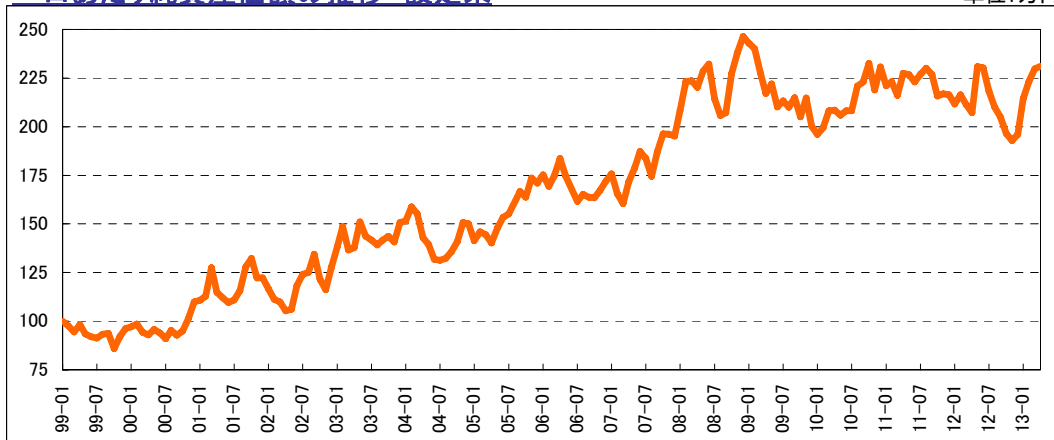
一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位: 万円



一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位: 万円



マーケット概要

米ドルは、対ユーロではドル安傾向となりましたが、英ポンドが下落するなどドル高傾向の側面も見られ、強弱感が拮抗した市場バランスとなりました。円相場は、92円台半ばから円安に転じ100円に接近する場面も見られましたが、持続的な円売り場面も見られず、思惑的な取引をのぞいて実需取引も目立たず、閑散な市場環境にあって動意を欠き、次第に円高傾向となりました。

主要国の短期金利は、日米欧ともに金融緩和を維持するなか、低水準での横ばいが続き、スイスではマイナス金利となりました。長期金利は、欧州債務問題の後退や株価の高止まりを背景に米独英ともに概ね横ばい推移となりました。国内では4日の日銀金融緩和発表を受けて10年債利回りは一時過去最低水準まで低下しましたが、その後は緩和前の水準での横ばいとなりました。

主要国の株価指数は、おおむね横ばい推移となりました。米国株はNYダウ、S&P500指数ともに過去最高値圏にあるものの、欧州の景気不振や、中国など新興国の成長鈍化が懸念され伸び悩みました。日本株は、4日に日銀がデフレ脱却に向けての大型緩和を発表し、為替も大幅に円安となったことから、日経平均株価は2008年6月以来の高値圏へ続伸しました。

原油相場は、ブレント原油は当初の110ドル水準から一時96.75ドルへ下落しました。欧州経済の不振や中国の経済成長鈍化から世界の石油需要見通しが下方修正されたほか、米国の原油在庫が1981年以来の高水準へ増加していることも圧迫要因となりました。ただ、米国株高が下支えとなり、月末にかけてはシリア情勢の不安もあって反発し、102ドル水準で越月しました。

金相場は当初の1,597ドルから反発したものの、1,600ドルを大きく超えられずに下落しました。1,540ドル割れを経て、一時は1,330ドル割れの急落場面もみられるなど、米国市場での金ETFの持ち高解消売りが下落の背景となりました。ただ、1,400ドル割れの安値では日本をはじめ中国、シンガポール、インド、中東等で現物需要が増加し、金相場も反発しました。

トウモロコシ相場は、米国内の在庫水準が予想を上回ったことが要因となり、3月末の730セント水準から一時は626.50セントへ急落しました。その後は鳥インフルエンザによる対中輸出減少が見込まれ横ばいとなりましたが、米国中西部では低温と多雨で作付け作業が進まず、生産の下方修正懸念が強まったことから月末には急伸、680セントを回復して越月しました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットトライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。

「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.10%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業者指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：大阪府大阪市中央区本町3-2-11

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会